

平成 30 年 10 月 26 日

各 位

会社名 東京貴宝株式会社  
代表者 代表取締役社長 中川 千秋  
(コード番号 7597)  
問合せ先 取締役管理部長 政木 喜仁  
(TEL 03-3834-6261)

## 不適切な取引の疑いの判明と調査委員会設置検討のお知らせ

今般、当社の取引について、代表取締役社長による不適切な取引が存在する疑義が発生いたしましたのでお知らせいたします。

10 月中旬に当社監査法人より、当社の取引の一部について不適切な取引があるとの外部情報を入手したとの指摘があり、当社において、調査を開始したところ、第三者を介在させた代表取締役社長のプライベートカンパニーとの取引などによる競業避止義務違反の疑いのある取引が存在することが認められるものと判断致しました。かかる状況を踏まえ、社内にて検討した結果、これまで当社と利害関係を有していなかった外部専門家たる弁護士・公認会計士を中心とする調査委員会を設置し、当社から独立し、かつ客観的な調査を実施して、その取引の詳細をあきらかにするほか、原因究明、再発防止策の提言、類似事象の有無などについての業務を委嘱すべきとの結論に達し、現在、当該調査業務に従事する外部専門家の人選を含め、調査委員会を早急に設置すべく検討中でございます。

かかる事態につき、株主をはじめとする多くのステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけすることとなりましたこと、誠に申し訳ございません。

上記調査委員会につきましては、設置が決定次第直ちに開示を行いますとともに、調査により判明した当社の決算に与える影響を含め、調査結果等につきましては、判明次第速やかに公表して参ります。当該不適切な取引の金額については不明でございますが、調査の過程で算定していく予定でございます。判明次第速やかに開示致します。

なお、調査が過年度に及ぶことも想定され、平成31年3月期第2四半期決算短信につきましては、当初公表予定の11月7日に公表できない見込みであることから、当該決算短信の公表日が確定次第、速やかに公表いたします。

以上